

畜産



カビ毒の影響と対策について



畜産
園田 遼海
下島管農指導センター
080-1795-9380

現在、天草も梅雨入りし、高温多湿の時期になっています。暑熱対策も必要になってきますが、その他にも、飼料に発生するカビにも注意しなければなりません。

繁殖母牛がカビの生えた飼料を接種した場合、繁殖成績に大きな影響を及ぼします。子牛市場が高値で推移している現在、貴重な子牛を失わない為にも、カビには十分に留意し、飼養管理を行う必要があります。夏に向けて一度、飼料の状態を確認してみましょう。

・カビ毒による影響

1. 下痢
2. 肝臓障害
3. 血便
4. 繁殖障害・流産

カビ毒による牛への影響は、消化器官に限らず、繁殖障害や流産など、広範に及びます。

通常、繁殖母牛の発情・受胎のメカニズムは、主に「エストロゲン」と「プロゲステロン」というホルモンによって行われます。

発情時、卵胞から「エストロゲン」が分泌され、発情の状態へと変化し、受胎後には、黄体から「プロゲステロン」が分泌され、妊娠を維持します。しかし、カビ毒には「エストロゲン」に似た物質が含まれているため、ホルモンバランスが崩れ、流産が起こってしまいます。

・対策の為に

カビの発生を防ぐ、また、カビの生えた飼料を摂取してしまった場合は、次のような対策が有効です。

1. 飼料の給与方法を見直す

カビ毒の被害を防ぐためには、カビの生えた飼料を給与しないことが最も大切です。高温多湿の梅雨時期から夏場にかけては、わずか半日でもカビが発生することがあります。翌日分の配合飼料を台車に移して準備し

たりすることもあると思いますが、翌朝見ると表面にうっすらとカビが生えていることもあります。手間にはなりますが、飼料の準備はその都度確認しながら行い、毎回きれいな飼料を給与しましょう。また、白カビは問題ないと言ったりもしますが、カビは種類に関わらず、白カビも有毒です。カビが生えている飼料は、勿体ないですが廃棄しましょう。

2. 飼料の保管方法を見直す

普段は、野生動物に漁られないよう、密閉して飼料を保管したりしますが、長くそのままにすると、湿気でカビが増殖してしまいます。倉庫等で保管する場合は、雨や湿気に晒されないようにしつつ、晴れた時には適度に換気するなどして適切に管理しましょう。

3. 飼槽やタンクを掃除する

カビは、飼料に限らず、飼槽の内側や飼料タンクの中にも発生します。特に、水や牛のよだれがかかっていたり、残飼がこびりついているとカビが発生しやすくなるため、食べ終わったあとの飼槽はこまめに確認・掃除し、きれいな状態を保つようにしましょう。

4. カビ毒吸着剤を給与する

カビの中には、一見して発生しているか分からないものもあります。目に見えないカビの対策としては、カビ毒吸着剤の添加も効果的です。また、肝臓機能の低下による夏バテなどを防ぐためにも、強肝剤の給与も考慮しましょう。もちろん、吸着剤の効果にも限度があるため、吸着剤を給与しているからといって、明らかにカビの生えた飼料を給与してはいけません。

・今後の対策

毎回確実なチェックを行うことは難しいかもしれませんが、それぞれの飼養管理の中で出来る限り目標に近づけることが大切です。物の配置を変えたり、掃除するときに少し意識するだけでも対策は可能です。事故や生産性の低下を減らして、より良い経営、飼養管理に努めましょう。

水稻



農作業 メモ



水稻
吉田 義文
指導販売課
0969-22-1105

出穂期からの水管理

穂ばらみ期から出穂期にかけては稲の体力消耗が激しくなりますので、やや深水にて管理をして下さい。登熟期に入れば浅水での間断灌水に切り換えて下さい。

◎病害虫防除

- ・1回目
水田の約5～6割程度の出穂が確認できる時期に「ビームトレボン」の散布をお願いします。※イモチ病・カメムシ対策です。
- ・2回目
前回散布から7～10日後に「キラップ」の散布となります。

※カメムシ対策です。

注) 散布の際は使用基準を遵守し、飛散がないよう心がけて下さい。又、散布された際には栽培管理台帳への記入をお願いします。

適期刈り取りの励行について

1穂籾の85%（籾黄化率）程度黄色く熟れる頃が収穫適期です。茎や葉が緑色であっても籾は黄色くなっている事が多いので、注意が必要です。目安は出穂期（ほ場の40%程度出穂した日）から35日たった頃です。

野菜



甘長とうがらし今後の管理



野菜
平田 優輝
下島管農指導センター
080-1729-1639

追肥…収穫始めから行う。

※アサヒエース 10 aあたり14～20kg（10～14日の目安）又は、液肥を500倍かん水する。

かん水…水分不足は品質に影響が出る為、こまめにかん水を行う。

※収穫期に水分が不足すると、果実肥大が悪くなることがあり、曲がり果の原因になる。

整枝…主枝の4本は必ず残す。生育が旺盛になるにつれて中が込み合う場合は採光を考慮し間引き・摘芯する。

※日陰で果実が白くなりやすくなるため、光を十分当てる。

摘果…曲がり果等の不良果は早目に除去する。

※樹勢低下になりやすい。

ネット張り…2段目は1段目より40～50cmの高さにする。

※1段目は地面から70cmぐらいの高さで張り、出来るだけ主枝4本を広げる。

斑点病対策…Zボルドーを500倍で散布する。（混用はしない・果実の汚れに注意）

害虫対策…スタークル顆粒水溶剤 2000倍

前日まで 2回 スリップス

アフーム乳剤 2000倍

7日前まで 2回 オオタバコガ

モスピラン水溶剤 8000倍

前日まで 2回 アブラムシ類

尻腐れ対策…カルシウム剤の散布を行う。（ジューシーカル・スイカル・エキカル等）を500～1000倍で散布する。

白絹病対策…リゾレックス水和剤

1000倍 前日まで 2回



6月の柑橘園管理



果樹
木蜜 栄次
上島農指センター
080-1759-0088

梅雨時期は黒点病が付きやすくなりますので、固着性展着剤のアピオンEを加用し効果の高い防除を行きましょう。

1. 病害虫防除

項目	時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	備考
温州中晩柑	上旬～下旬	カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ	スプラサイド乳剤40	1,500倍	混用
		黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	
		展着剤	アピオンE	1,000倍	
	中旬	ミカンハダニ	ハーベストオイル	150倍	混用散布
		ミカンサビダニ	サンマイト水和剤	3,000倍	
		黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	

※ハーベストオイルについては、落果の多い樹・樹勢低下樹には使用を控えて下さい。

※カイガラムシが多い園では、再度エルサン乳剤1,000倍を散布しましょう。

2. 葉面散布の実施

新梢の緑化の遅れは、生理落果の助長を招きます。緑化が遅れている園では、チッ素+マグネシウムの葉面散布で緑化促進を図りましょう。

目的	資材名	希釈倍数	備考
樹勢維持	尿素 又はアミノジューシーN14 又は神協スピリッツ	500倍	混用散布
緑化促進	葉面マグ	200倍	
新梢充実	ジューシーカル	1,000倍	テコポン等

3. 施肥の実施

栽培タイプ	施用時期	品種名	肥料名	10a当たり施用数
通常タイプ	6月上旬	ポンカン・清見 甘夏・河内晩柑 パール柑	熊本果樹肥料 10-7-4 又は ひのくに果樹 9-3-3	5袋
		テコポン	熊本テコポン 8-3-3	4袋

4. タイベック被覆の実施(温州みかんのみ)

早期出荷や品質向上の為、タイベック被覆を実施しましょう。

品 種	被覆時期
肥のあかり・豊福・肥のさやか	6月下旬～7月上旬
肥のあけぼの・早生	7月中旬～8月中旬

5. 粗摘果の実施

早期に摘果を行う事により、残った果実の肥大が促進されます。基本的には生理落果終了後から行いますが、極早生温州など収穫までの日数が短い品種では、2次落果頃から摘果を行う事により肥大が促進されます。特に小玉の多い「肥のあかり」を中心に内成りや天成り果を早期に除去して下さい。

○薬剤摘果(ターム水溶剤)

生理落果期に摘果剤を使用する事で、早期にかつ省力的に摘果を行う事ができます。

特に早期摘果が難しい極早生温州やポンカンで使用し、一階級UPを目指しましょう。

作物名	使用目的	希釈倍数	使用時期	回数
温州みかん	摘果	500倍～ 1,000倍	1次生理落果期 (満開 10～20日後)	1回
		1,000倍～ 1,500倍	2次生理落果期 (満開 20～40日後)	
かんきつ	摘果	1,000倍～ 1,500倍	生理落果期 (満開 10～50日後)	1回

※使用方法

- ①摘果効果は気温に左右されるので、25度程度の気温が2～3日続く日を選んで散布する。
- ②粗摘果目的で使用する場合は樹冠内部への散布を基本とし、散布液が飛散し過ぎないように散布圧力を調整して使用する。

※注意事項

- ①マシン油乳剤との近接散布に注意する。前後7日程度空けてから使用する。
- ②高温下(30℃以上)での散布又は散布後に高温が続くと過摘果になる場合があるので気象条件を見極めてから散布する。



農機センター・渉外担当者・受付先一覧

農機の点検・修理は私たちに任せください！
故障の際は、まずは各地区の担当者にお電話を！ご自宅や圃場まで駆けつけます！

【下島農機センター】0969 (78) 4980

担当地区	氏名	携帯電話
◎センター長	大石 進也	080-2724-7740
◎新和	大田 耕志	090-7449-6644
◎河浦	平田 博安	080-1725-4453
◎牛深	北野 伸二	080-1545-7529
◎天草	大石 進也	080-2724-7740

【上島農機センター】0969 (53) 1139

※佐伊津地区の方は、上島農機センターにて対応いたします。お気軽にお電話ください。

担当地区	氏名	携帯電話
◎センター長	福田 泰久	080-2722-1162
◎有明	福田 泰久	080-2722-1162
◎松島・姫戸	福田 泰久	080-2722-1162
◎倉岳・龍ヶ岳・御所浦	早崎 崇	080-2723-6986
◎栖本	百田 昇	080-2721-4125
◎工場	山口 祐介	080-2724-0320
◎工場	山田 良一	080-1545-2921
◎工場	宮崎 善徳	080-2774-0182

子牛セリ市開催

5月17日に天草家畜市場で今年最後の子牛セリ市が開催されました。子牛のセリ市は奇数月の17日に開催されています。



JAあまくさ管内からは184頭(全体で380頭)の子牛がセリにかけられ、平均価格は770千円(全体平均は778千円)となり、昨年5月のセリと比較すると105千円(全体では103千円)上回る好成績となりました。

